参考資料１

「岩手県文化芸術振興指針」実施効果の検証について

１　実施効果の検証

指針に掲げる評価項目ごとに、数値化のほか、事例等を織り交ぜながら、**数字のみに依らない具体の動向把握**に努める。

【具体的な手順】

①　参考指標等の作成

・　**定量的な評価項目**（※１）については、現実的に把握可能な範囲で数値化に努める。また、数値で捕捉しきれない内容がある場合は、代表的または特徴的な事例を挙げて補足する。

※１　「～が増えているか」等、数量的な増減を問う項目。

・　**定性的な評価項目**（※２）については、代表的または特徴的な事例を挙げるほか、関連する数値指標等により内容把握に努める。

※２　「～されているか」「～になっているか」等、状態を問う項目。

②　施策の方向ごとの総括・まとめ等

・　①の参考指標等をふまえ、**施策の方向ごとに進捗状況や課題等をまとめる。**

・　個別の予算事業の取組状況等、評価項目に反映しきれないもののうち、特徴的なものや関連度の高いものの動向も記載する。

③　岩手県文化芸術振興審議会における議論

・　事務局が取りまとめた①及び②について、各委員が把握する実状や専門的な見地からの意見等を聴取し、今後の取組に活かしていく。

2　検証結果の反映

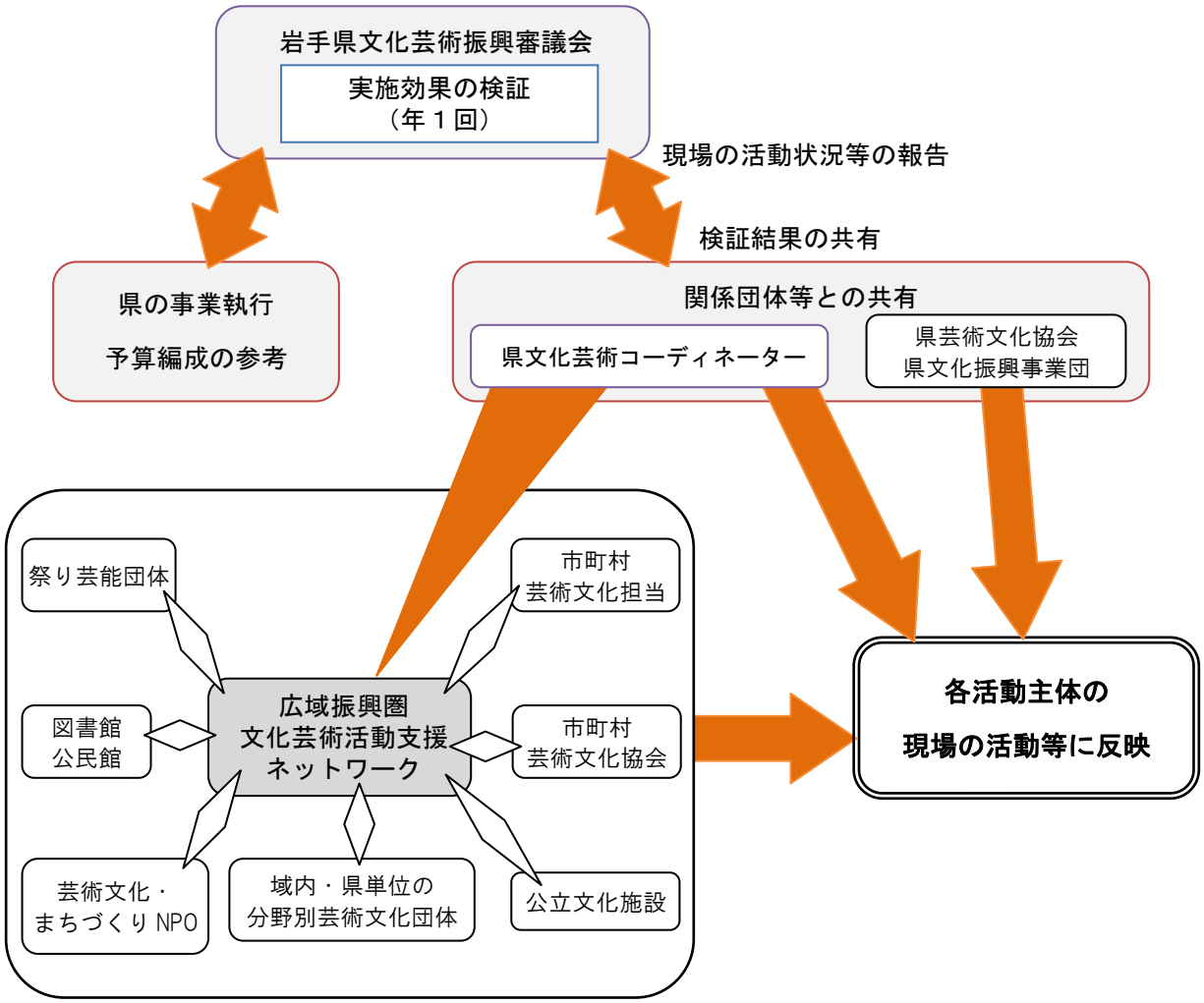
検証の結果、明らかになった課題や注力すべき事項について、下記のとおり情報共有するとともに、各活動主体の取組に反映させていく。

①　県の事業執行及び予算編成の参考

②　関係団体等との共有

○　県文化芸術コーディネーター、県芸術文化協会や県文化振興事業団との情報共有

○　各広域振興圏の「文化芸術活動支援ネットワーク」を通じた情報共有

⇒　各活動主体の現場の活動等への反映（※イメージ図参照）

【イメージ図】